

事務事業 No./名称	■サービス部門 まち-04 放置自転車防止事業 □支援部門						
主管課	交通計画課(交通政策課)		関連課				
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	放置自転車台数の削減						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	51,556	47,281	53,261			
	(国・県)			1,832			
	(負担金等)	5,341	3,640	3,321			
	(一般財源)	46,215	43,641	48,208			
	人員配置数	2.0	2.0	2.2			
	人件費(千円)	17,043	17,095	19,769			
	協働のパートナー	鎌倉・大船警察 (財)自転車駐車場整備センター		鎌倉・大船警察 (財)自転車駐車場整備センター		鎌倉・大船警察 (財)自転車駐車場整備センター	
事務事業運営経費	総事業費(千円)	68,599	64,376	73,030			
	市民1人当りの経費(円)	387	363	413			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
自転車保管場所に持ち込まれた放置自転車の年間総数	○	目標値	5,000	5,000	4,600	4,200	3,000
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	4,578	4,963	4,396		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
放置自転車防止事業	51,556千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	放置自転車対策として警告、移動、放置しづらい環境づくりを実施した。他に、市が管理する駐輪場の巡回管理及び自転車等保管場所の管理、保管期間が経過した自転車等の処分等を行った。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	大船駅西口地区の駐輪場不足の解消に向けて、大船駅西口の整備事業と連携して取り組む必要がある。
課題解決のための取組	放置自転車対策として警告、移動を実施した。放置しづらい環境づくりを実施した。JR鎌倉駅及び大船駅周辺の自転車等放置禁止区域については、監視員を7時30分から17時30分まで常時配置し監視を行った。大船駅西口地区の駐輪場不足の解消を図るため、指定管理制度による平成24年4月からの大船駅西口交通広場自転車等駐輪場の供用開始に向け、業者の選定及び協定書の締結を行った。昨年度まで、放置自転車台数の削減の指標として、一日平均の警告台数を挙げていたが、警告により放置場所から自ら移動した台数も数値に含まれるため、今年度から警告台数ではなく、市内2か所にある自転車保管場所に持ち込まれた放置自転車等の年間総数に変更した。
未解決の課題	鎌倉駅西口の駐輪場待機者(約350台)の解消が課題である。買物客などの店舗利用者の歩道等一時駐輪に対する対策が必要である。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性	○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了		
	➡	②妥当性	○		↓	鎌倉駅西口の駐輪場用地確保については、JR東日本及び関係課との調整を行いながら、長期的な課題として検討していく。 店舗利用者の歩道等一時駐輪については、引き続き、監視員による監視を行うとともに、警察、道路管理者、商店街等との協力体制について検討していく。	課長等名	
		③有効性	○				B	交通計画課長
		④公平性	○					宮崎 隆

## (2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
放置自転車防止事業	主な個別事業	1039 放置自転車等返還業務嘱託員報酬	8,750	8,653	■適切 □見直し余地あり
		1039 事務補助嘱託員報酬	2,056	2,056	■適切 □見直し余地あり
		1039 鎌倉市自転車等駐車場指定管理者候補者選定委員会委員謝礼	156	90	■適切 □見直し余地あり
		1039 放置自転車等防止対策業務委託	33,600	28,593	■適切 □見直し余地あり
		1039 放置自転車等保管場所警備業務委託	287	287	■適切 □見直し余地あり
		1039 放置自転車等廃棄処分業務委託	362	243	■適切 □見直し余地あり
		1039 放置自転車等防止対策看板設置委託	600	357	■適切 □見直し余地あり
		1039 大船駅西口交通広場自転車等駐車場保安警備等業務委託	6,207	6,198	■適切 □見直し余地あり
		1039 駐輪場土地賃借料	2,375	2,369	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり